

スタディグループ ガイドライン

- ・ 神との対話に価値をみだし、同じように考える人たちとともにこの本について探求し、研究したいと思っている人たちの集まりです。すべての参加者が自らの意思でグループに参加している状態をつくります。
- ・ スタディグループには極めて個人的な性質があり、参加者がそれぞれのスピリチュアルな探求における洞察やチャレンジをシェアすることになるため、神との対話スタディグループは、すべての参加者において最も高いレベルの一貫性（integrity）と秘匿性（confidentiality）を求めます。学習のための安全かつ秩序ある空間を創り出すため、すべての参加者は、以下のことに同意しなければなりません。
 - ・ 発言するときは、正直に、オープンに話します。発言を聞くときは、客観的に、オープンに、思いやりをもって聞きます。
 - ・ スタディグループの中で、ほかの人が言ったことや経験したことは、スタディグループ以外の場所で話したり、言及したりしません。
 - ・ このグループの目的は、「神との対話」を研究することです。参加者に対して、この本についての個人的な経験や洞察をシェアするよう促すことは健全なことですし、そうすることで健全な議論に発展することは多々あると思いますが、スタディグループがセラピーセッションになることには気を付けましょう。たとえあなたがセラピストであっても、このグループの目的はプロフェッショナルなセラピーサービスを提供することではありません。
 - ・ ひとりひとりが、神との対話に対する解釈について議論するということを、理解しましょう。もっと言うと、グループ全体として、別な解釈が存在するための十分な余地を持つことは非常に重要です。

神との対話財団（The CWG Foundation）公式ページより、出町陽平が翻訳(2018/12/9)

http://cwg.org/docs/study_group/Group_Guidelines.pdf